

科目名	基礎演習2（卒業必修）		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2022年度 後期	単位数	1
担当教員	郭 小蘭		
内容および計画	<p>【授業の目的】 本科目の目的は特別な配慮を要する幼児のこころの理解についての知識を身に付け、臨床心理学の技法を具体的に理解することである。学修した結果、学修者が一般的な発達基準で幼児のこころをとらえるのではなく、当事者の心情を臨床心理学の知識に基づいて理解し、当事者の集団適応力の向上を支える教育者の基礎的な姿勢を身に付けるようになる。</p> <p>【到達目標】 (1) 人のこころとは何かを意識するようになる。 (2) 人はなぜ悩むのかを考えるようになる。 (3) 心身の関係について具体的に意識するようになる。 (4) 幼児期の適応問題の実際を知る。 (5) 遊戯療法についておおむね知る。 (6) 気になる子どもとの関係作りの方法（カード遊びなど）を具体的に知る。</p> <p>【授業概要】 特別な配慮を要する幼児の多様な事例、幼児期の心理臨床の知識を学ぶ。脳科学の進歩について学ぶ。教材研究も行う。</p> <p>【授業方法】 DVDなどの視聴・事例研究・少人数のグループワーク・ICTを活用する。</p>		
1	「基礎演習Ⅱ」に関するオリエンテーション (1) 人のこころとは何か ・シラバスの解説・グループワーク		
2	(1) 人のこころとは何か ・欲求と要求のバランス・グループワーク		
3	(2) 人はなぜ悩むのか ・欲求不満・適応規制・グループワーク		
4	(2) 人はなぜ悩むのか ・欲求不満耐性・グループワーク		
5	(3) 心身の関係 ・社会的な生活の支障・グループワーク		
6	(3) 心身の関係 ・基本的な生活上の支障・グループワーク		
7	(4) 幼児期の適応問題 ・事例研究・グループワーク		
8	(4) 幼児期の適応問題 ・事例研究・グループワーク		
9	(5) 遊戯療法 ・事例研究・グループワーク		
10	(5) 遊戯療法 ・事例研究・グループワーク		
11	(6) 気になる子どもとの関係づくりの方法 ・カード遊び・グループワーク		
12	(6) 気になる子どもとの関係づくりの方法 ・〇〇遊び・グループワーク		
13	教材研究（手作り遊具製作）		
14	教材研究（手作り遊具製作）		
15	教材研究（手作り遊具製作）		
教科書			

タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
<p>(1) 図書館にある DVD を授業の教材として使用します。授業時間外に詳しく視聴することが望ましいです。</p> <p>(2) 事前に classroom にレジユメなどの資料を掲載するので事前に読んでください。読んできている前提で授業を進めます。</p> <p>(3) 教材研究に ICT などを活用してください。</p> <p>(4) 教員に参考文献などについて積極的に助言を求めてください。</p>				
参考書	臨床心理学関係の書籍（授業時調べる）			
成績評価				
評価方法				割合(%)
事前に資料を読んでくること（要点の把握・自分の意見の有無という観点から A,B、C3 段階で評定する）				50
授業中の取り組み（集中力・発言・傾聴・積極性という観点から A,B,C,D 4 段階で評定する。）				20
リアクションペーパー（理解度・文章力・自分の考えの有無という観点から A,B,C3 段階で評定する。）				10
製作した作品の完成度（発達理解・安全面という観点から A,B2 段階で評定する。）				20
レジユメを事前に読んでくること・資料の復習・ノートの整理・言語的及び非言語的表現力が必要である。				
学習到達目標	内容欄に記載してある。			
先修条件				
実務経験	<p>(1) 児童養護施設で心理士を務めていたことがある。</p> <p>(2) 会津地域でスクールカウンセラーを長年務めていたことがある。</p>			
その他	<p>共に充実した内容の楽しい授業をつくっていきましょう。</p> <p>学修者の成長を身近で見守るのが楽しみです。</p>			